

全国



第 2320 号

令和7年
(2025年) 12月5日毎月3回5の日に発行
発行 全国市議会議長会〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-2
代表 TEL 03 (3262) 5234
旬報 TEL 03 (3262) 5237
発行人 宮地 賀
<https://www.si-gichokai.jp>

市議会旬報



高橋総務副大臣（左から4人目）に要望



古川内閣府大臣政務官（左から4人目）に要望



石田自民党総務部会地方議会の課題に関するPT座長（左から4人目）に要望

丸子善弘会長（山形市議会議長）をはじめ本会の正副会長は11月25日、政府・与党の要職に対し要望活動を行った（要望先・要望参加者を左下）

丸子会長は、厚生年金制度への地方議会議員の加入について、この実現を求める意見書を採択した。た市區議会が約2年半で

急増し、全国の約7割に達したことから、政府・与党への協力を要請した。このほか、地方創生の推進について、関連施策の着実な推進とともに、

地方への人の流れを生み出すため、地方への移住や企業移転、関係人口の増加など、人の流れをつくり、実効性のある施策の展開を要望した。

方税・地方交付税等の一般財源総額の増額確保や、所得税・個人住民税の基礎控除等の更なる見直し、ガソリンの暫定税率の廃止を行う際には代替となる恒久財源を確保することなどを要望した。

正副会長
要望活動

厚生年金加入

一般財源総額増額確保

ガソリン税暫定税率

政府・与党へ協力を要請

【要望先】
高橋克法総務副大臣、古川直季内閣府大臣政務官、石田真敏自民党総務部会地方議会の課題に関するPT座長
【要望参加者】（敬称略）
【会長】丸子善弘（山形市議長）
【副会長】五十嵐一彦（鶴岡市議長）、池田和幸（長岡市議長）、齊藤誠之（那須塩原市議長）、小南いちお（大東市議長）、山下節子（宇部市議長）、田島寛信（大分市議長）

令和7年度補正予算閣議決定

地方交付税交付金増額に1・3兆円

政府は11月28日、令和7年度補正予算を閣議決定した。一般会計総額は18兆3034億円。

補正予算案では「生活の安全保障・物価高への対応」として計上された8兆9041億円（+特別会計930億円）のうち、地方の伸び代の活用と暮らしの安定として4

兆9786億円が計上されている。その内訳は、地方交付税交付金の増額に1兆3041億円、地域未来交付金に1000億円などとなっている。

このほか、重点支援地方交付金の拡充（食料品の物価高騰に対する特別加算4000億円を含む）2兆円など「足元の

成長投資による強い経済の実現」として、「防災・減災・国土強靭化の推進」へ2兆9500億円が計上された。その内訳は、国土強靭化（道路関連インフラ保全等）1兆5500億円や自然災害からの復旧・復興（能登等）7417億円などとなつてい

物価高への対応」へ2兆9451億円が計上され
た。

第151回国会対策委員会



松坂委員長
(千葉市)

26日、東京・ホテルルパール麹町で第151回委員会を開催。正副委員長を選出し、要望書を決定した。

塙原市議会議長)の冒頭
あいさつの後、正副委員
長の選任を行い、委員長
に松坂吉則千葉市議会議
長、副委員長に後藤錦信
大崎市議会議長、伊東寿
充高山市議会議長が就任
した。



齊藤副会長
(那須塩原市)

本会各委員会 要望活動を実施

本会は、第151回国会対策委員会、第184回建設運輸委員会を開催。要望書を決定し、政府・与党、国会議員などへ要望活動を行つた（要望書は本会ウェブ掲載□）。

齊藤副会長
(那須塩原市)

第14回 地方財政委員会 委員長市 紹 豊岡市



市 章

状に歯止めをかけるため
調査に取り組んでいる。

議長の話



浅田徹議員

▽人口	7万3920人
(令和7年10月末現在)	
▽面積	697.55km ²
▽歴史・沿革	平成17年 に兵庫県の北東部に位置 する1市5町が合併して 誕生。市域の約8割を森 林が占め、北は日本海、東 は京都府に接し、中央部 には円山川が流れている 国の特別天然記念物・コ ウノトリの人里での野生 復帰の取り組みは、世界 的にも例がない。城崎温 泉をはじめ、但馬の小京

るい未来の象徴である。

【議会の概要】

- ▽議員定数 22人（現 在・男性19人、女性3人）
- ▽前回選挙 令和7年10月26日。立候補29人。投票率59.33%。
- ▽議会トピックス 本年10月の選挙から定数が2人減り22人となり、そのうち5人の新人が当選。平均年齢は55歳と改選前より3歳以上低くなった。人口を新たに設置し、深刻な現
- 減少対策調査特別委員会

都・出石城下町などを有し、観光業も盛んである△シンボル 6つの市町が統合し、新「豊岡市」が誕生することにちなみ、豊岡市の「と」の字をベースに、6つの市町が一つになり、未来に伸びていく願いを込め、活気に満ちた「6つのライン」で

野海岸、神鍋高原スキー場、出石城下町などの観光資源に恵まれ、「かばん」産業は全国の4大産地の一つになっています。今年は、新市合併並びに「コウノトリ」の自然放鳥から、20年の節目の年を迎えました。

文は本会ウェブ掲載口

要望書は、▽多様な人材の市議会への参画促進及び地方議会の機能強化▽地方税財源の充実確保及び地方創生・地方分権の推進－などについての5項目からなる。

会議ではこのほか、総務省自治税務局の奥田 隆

則固定資産税課長が「地方税制をめぐる現状と課題」と題して説明した。

委員会終了後、正副委員長及び各委員は自民党要職者に対して要望活動を行った(参加者・要望先は下掲、写真は左掲)。



後藤副委員長
(大崎市)



伊東副委員長
(高山市)

【要望活動参加者・要望先】

【要望活動参加者】(敬称略)

■委員長

松坂吉則 (千葉市議会議長)

■副委員長

後藤錦信 (大崎市議会議長)

■委員

福居秀雄 (旭川市議会議長)

角掛邦彦 (滝沢市議会議長)

藤原 明 (大館市議会議長)

高星勝幸 (常陸太田市議会議長)

齋藤文明 (日光市議会議長)

乾 秀子 (城陽市議会議長)

山条真嗣 (坂出市議会議長)

菅 敏徳 (阿蘇市議会議長)

【要望先】(敬称略)

鈴木俊一 (自民党幹事長)

有村治子 (自民党総務会長)

鈴木英敬 (自民党総務部会長)

山際大志郎 (自民党税制調査会
小委員長)

橋慶一郎 (自民党地方議会の課題
に関するPT幹事長)



鈴木自民党幹事長(左から5人目)に要望



有村自民党総務会長(中央)に要望



鈴木自民党総務部会長(左から5人目)に要望



山際自民党税制調査会小委員長(左から3人目)に要望



橋自民党地方議会の課題に関するPT幹事長(右から3人目)に要望

第184回建設運輸委員会



渡邊委員長
(燕市)

本整備政策課長、福島教
郷地域交通課長がそれぞ
れ「社会インフラの現状
と老朽化対策について」、
「地域公共交通の現状と
維持に向けた対策につい
て」と題して説明した。

維持に向けた対策について」と題して説明した。

本整備政策課長、福島教
郷地域交通課長がそれぞ
れ「社会インフラの現状
と老朽化対策について」、

主な要望事項

自然災害対策の推進

台風・豪雨対策の推進について、流域治水の本格的実践に必要な予算・財源の確保などの支援及び第1次国土強靭化実施中期計画の推進に必要な予算・財源の別枠での確

道路の整備促進について、高規格道路ネットワークの早期整備とともに建設資材高騰や労務費の上昇を踏まえた財源の確保などを求めている。公共交通の確保・維持

各種交通基盤の整備

都市基盤整備の推進
社会資本整備事業等の
推進について、橋梁やト
ンネル等の老朽化対策に
おいて予防保全や新技術
も活用した維持管理の高
度化・効率化や機能向上

都市基盤整備の推進

した土地に対して住宅用地特例が適用されるものと同等の固定資産税の減免措置を全国一律で創設すること、空き家解体に係る費用を所得控除の対象とする税制優遇措置の

観光施策の推進

観光施策の推進

は本会ウェブ掲載口)。要望書は、▽自然災害対策の推進▽各種交通基盤整備の推進▽都市基盤整備の推進▽観光施策の推進ーについての4項目からなる。

会議ではこのほか、国土交通省総合政策局の西山茂樹社会資



辻元参議院国交委員長に要望（右から2人目）



谷田川衆議院国交委員会理事に要望（左から2人目）



三浦参議院国交委員会理事に要望（右から2人目）



北村自民党国交部会副部会長に要望（左から3人目）

創設などを求めている。

観光施策の推進

魅力ある観光地域づくりの促進について、インバウンドや国内旅行の拡大に繋げるための受入環境整備や観光産業の生産性向上・高付加価値化、観光資源の磨き上げなどに積極的に取り組める財源の確保、特定の観光地におけるオーバーツーリズムなどに配慮した持続可能な観光の推進などを望している。

保を要望している。加えて、河川整備計画に沿つた整備の促進や河川改修事業の計画的かつ着実な実施、準用河川改修事業を実施する市町村への補助拡大などを要望していく。

については、地域公共交通の充実強化として、利用者の減少やエネルギー価格の高騰等により厳しい経営環境に置かれている地域公共交通の事業者及び地方自治体に対し路線を維持するための財政

型更新を安定的かつ計画的に進めていくために必要な予算の確保、緊急に修繕等の措置が必要な場合の優先的な財政支援を求めて いる。